

東北大学基金へのご支援のお願い

東北大学の「教育」「研究」「社会との共創」の成果を通じて、
より豊かな未来社会を皆さまと一緒に実現していくため、ぜひご理解とご支援をお願いいたします。

ご寄附の方法

右記QRコードまたは下記URLよりお申込みいただけます。

お申込みURL <https://www.kikin.tohoku.ac.jp/tohoku/entry.php?fmMode=donationForm>



詳しくはこちら

お申込み手順

- ① お申込みURL・QRコードにアクセスしてください。
- ② 申込みフォームが開きます。
- ③ 寄附の種類・金額(1,000円以上)・住所、氏名等の必要事項をご入力ください。
- ④ 決済方法をお選びください。

Access!



決済方法詳細

クレジットカード決済	下記のカードでのお申込みが可能です。     
コンビニ決済	申込みフォームにてお手続き完了後、お近くのコンビニでのお手続きが可能です。 【ご利用可能なコンビニエンスストア一覧】セブンイレブン・ローソン・ミニストップ・ファミリーマート・セイコーマート・デイリーヤマザキ ※コンビニ決済上限金額▶セブンイレブン、デイリーヤマザキ：49,000円以内 それ以外のコンビニエンスストア：299,000円以内
銀行振込	申込みフォームにてお手続き完了後、振込先をメールでご案内いたします。
郵便振替	申込みフォームにてお手続き完了後、払込取扱票を送付いたします。 払込取扱票が届きましたら振込のお手続きをお願いいたします。 ※払込手数料は本学にて負担いたします。
Amazon Pay	Amazon Payでもお申込みが可能となりました。Amazonアカウントをお持ちの方は、より簡単にお手続きができます！ 

マイページ機能のご案内

マイページにご登録いただくと、次回以降のお申込みの際に住所・氏名等の情報のご入力省略ができます。この機会にぜひ、マイページ登録をしてみませんか？

マイページのご登録はこちら <https://www.kikin.tohoku.ac.jp/tohoku/mypageEntry.php>



ご登録はこちら



あな
たの
支
援
未
来
に
つ
な
が
る

TOHOKU UNIVERSITY FUND REPORT 2024

東北大学基金レポート (2023年度の活動記録)

研究大学のトップを走り、世界的な舞台で大きく飛躍します。
皆さまからのご支援に心より感謝申し上げます。



皆さまには東北大学の諸活動に対して、並々ならぬご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。2024年4月に第23代東北大学総長に就任致しました富永悌二です。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、本学は、今から117年前の1907年に、この「杜の都」仙台の地に第三の国立総合大学として創設されました。それ以来、本学は「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」の理念の下で、世界をリードする研究成果をあげると同時に、多くの指導的人材を世界に輩出してきました。

そして現在、唯一の「国際卓越研究大学」の認定候補として審査が進行しておりますが、私たちに求められることは「世界最高水準の知を創造」することであり、「未来を拓く変革を先導」することであると考えます。これらの営みを通して、学生や若い研究者たちの挑戦を支え、伸ばし、世界で活躍できる人材を育成してまいります。

本学がこのような活動を推進し世界的な舞台で大きく飛躍するためには、自分たちの努力はもちろんのこと、皆さまからのご支援が大きな支えとなります。そのご支援により形作られた東北大学基金は、世界を牽引する大学となるべく挑戦し続ける私たちの原動力です。

皆さまからの篤いご期待に応え、東北大学はこれまでに我が国になかった新しい研究大学として、より良い未来社会の実現のために邁進して参ります。引き続き、東北大学へのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

東北大学総長

富永悌二

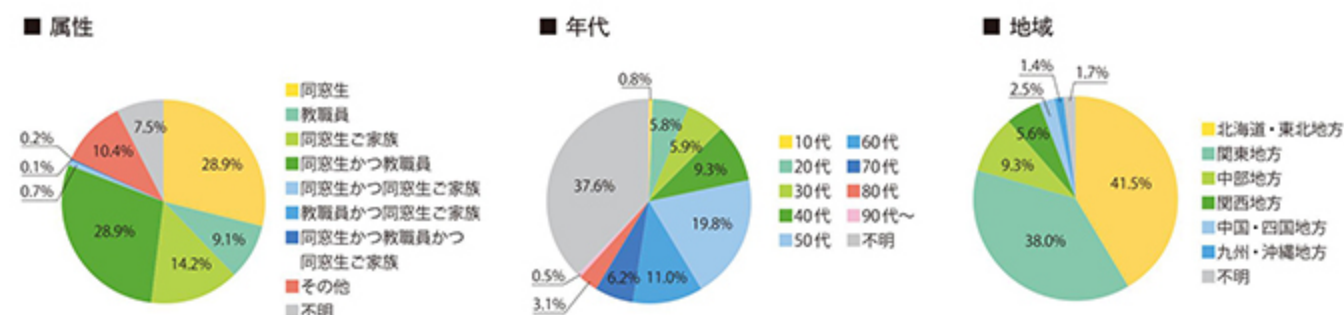
2023年度 東北大学基金へのご寄附

東北大学基金に貴重なご寄附をお寄せいただき、誠にありがとうございます。
2008年度創立から2023年度までの東北大学基金へのご支援累計は以下となりました。

2023年度東北大学へのご寄附詳細

東北大学基金へのご支援累計 (2008年度創立～2023年度)		2023年度 東北大学へのご寄附詳細	
累計総額	8,735,920,169円	累計総額	1,858,863,468円
累計総件数	53,598件	累計総件数	13,021件

東北大学基金は皆さまからのご寄附により支えられています。



皆さまからのご支援は未来への投資です。

東北大学へのご寄附に対して、心からの感謝の気持ちをお伝え申し上げます。皆さまのご支援は、私たちの研究・教育活動にとって非常に重要です。本学の研究者や教育者が創造性を発揮し、社会に対して有益な成果を生み出すための基盤を築く上で大きな役割を果たし、学生たちが創造力やリーダーシップを発揮できる環境を提供するための貴重な資源となっております。また、寄附者の皆さまのお気持ちを大切に、そのご支援を最大限に生かすために、私たちは厳しい透明性と責任をもって本基金を運用しています。皆さまの信頼に応えるべく、基金の活用方法を追求し、研究や教育の質を向上させるための取組みを行っています。今後も、皆さまからのご支援を有効に活用し、研究者や学生たちが成果を生み出し続けられる環境を整えることに全力を尽くしてまいります。ご支援いただいた皆さまのお気持ちに応えるべく、東北大学は常に向上心を持ち、社会に貢献する使命を果たしてまいります。

東北大学副学長（基金担当） 長坂 徹也

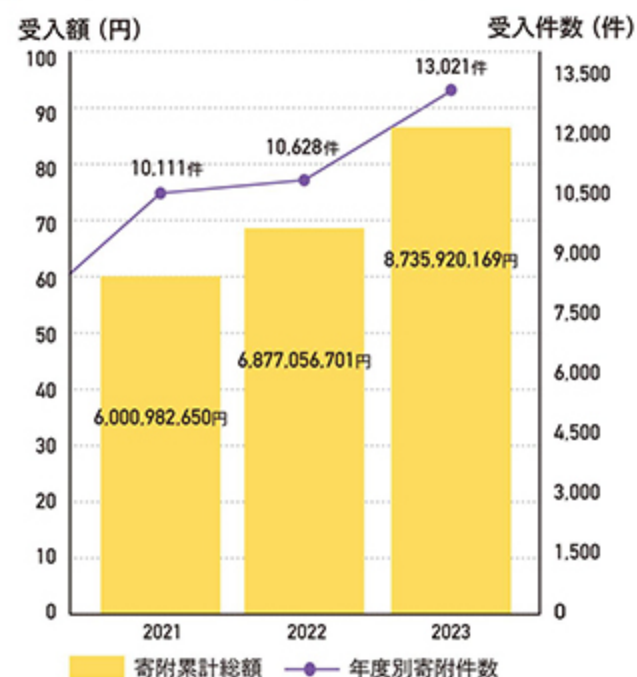


2023年度寄附受入内訳

2023年度は総額 **1,858,863,468** 円をご寄附いただきました。

一般基金	■ 一般基金	6,012 件	301,277,066 円
	■ 古本募金	97 件	292,627 円
	■ リユース募金	9 件	16,443 円
特定基金	■ 修学支援基金	472 件	34,809,364 円
	■ 博士課程支援基金	96 件	1,690,000 円
	■ 萩友会支援基金	1,167 件	1,667,540 円
	■ 学会支援基金	512 件	6,441,277 円
	■ 減災教育研究助成基金	8 件	507,000 円
	■ 知のフォーラム支援基金	24 件	9,543,000 円
	■ DEI推進基金	1,182 件	33,970,736 円
	■ 震災復興支援基金	5 件	7,000 円
	■ 青葉山新キャンパス整備基金	14 件	25,000 円
	■ 原子力災害からの復興に向けた支援基金	22 件	212,000 円
	■ 畑井メダル基金	3 件	510,165 円
	■ 研究者育成支援基金	25 件	3,501,000 円
	■ スタートアップ事業化支援基金	32 件	14,019,000 円
	■ 大内国際交流支援基金	1 件	5,000 円
	■ 環境DNAを用いた魚類調査によるビッグデータ「ANEMONE DB」支援基金	228 件	10,537,100 円
	■ グリーンゴールズイニシアティブ基金	6 件	7,984,000 円
	■ 次世代のスマート・リサーチ・コンプレックス形成基金	10 件	10,515,000 円
	■ 超小型人工衛星打上げ支援基金	1 件	100,000,000 円
部局特定基金	■ 文学部・文学研究科 文学教育研究支援基金	47 件	1,589,000 円
	■ 教育学部・教育学研究科 みらいの教育研究支援基金	17 件	1,046,351 円
	■ 法学部・法学研究科 法学教育研究支援基金	55 件	6,627,000 円
	■ 経済学部・経済学研究科 みらい創造基金	162 件	2,269,577 円
	■ 理学部・理学研究科 理学教育研究支援基金	112 件	16,009,794 円
	■ 医学部・医学系研究科 未来医療への22世紀基金	102 件	1,023,877,846 円
	■ 歯学部・歯学研究科 歯学教育研究支援基金	101 件	891,000 円
	■ 薬学部・薬学研究科 薬学教育研究支援基金	89 件	2,571,000 円
	■ 工学部・工学研究科 未来への挑戦基金	173 件	3,057,472 円
	■ 農学部・農学研究科 農学研究科教育研究支援基金	50 件	2,008,145 円
	■ 国際文化研究科 教育研究支援基金	3 件	190,000 円
	■ 情報科学研究科 情報科学の未来基金	46 件	419,000 円
	■ 生命科学研究科 生命科学教育研究支援基金	30 件	754,000 円
	■ 環境科学研究科 教育研究支援基金	5 件	212,413 円
	■ 医工学研究科 教育研究支援基金	3 件	210,000 円
	■ 金属材料研究所 材料科学研究教育助成基金	32 件	342,316 円
	■ 加齢医学研究所 スマート・エイジング未来基金	7 件	111,373 円
	■ 流体科学研究所 流体科学支援基金	1 件	10,000 円
	■ 電気通信研究所 インタラクションの森基金	49 件	1,354,000 円
	■ 多元物質科学研究所 未来につなぐ“モノ”づくり基金	62 件	2,386,000 円
	■ 災害科学国際研究所 災害研究の英知を次代へ基金	35 件	78,500 円
	■ 学術資源研究公開センター 植物園未来基金	37 件	2,487,604 円
	■ 東北大学総合学術博物館基金	13 件	468,000 円
	■ 未来科学技術共同研究センター 産業創出支援基金	3 件	9,954,924 円
	■ 東北メディカル・メガバンク機構 地域とToMMoに基金	54 件	2,451,420 円
	■ 学際科学フロンティア研究所 学際科学若手研究者支援基金	3 件	11,582 円
	■ 東北大学附属図書館 図書館のみらい基金	52 件	850,812 円
	■ 東北大学病院 みんなのみらい基金	275 件	24,564,461 円
評価性資産特定基金	■ 評価性資産特定基金	4 件	178,720,460 円
クラウドファンディング	■ クラウドファンディング	1,473 件	35,809,100 円
合 計		13,021 件	1,858,863,468 円

過去3年の寄附受入推移



寄附者顕彰 (2008年度創設～2023年度)

賞		個人数 (累計)	法人・団体数 (累計)
栄誉功労賞	個人: 3,000万円以上 法人・団体: 1億円以上	15	4
特別功労賞	個人: 1,000万円以上 法人・団体: 5,000万円以上	30	9
功 労 賞	個人: 100万円以上 法人・団体: 1,000万円以上	252	35
特別功績賞	個人: 50万円以上 法人・団体: 500万円以上	249	35
功 績 賞	個人: 10万円以上 法人・団体: 100万円以上	2,344	141

(2024年3月末現在)

【報告】令和5年度「東北大学基金 功労賞等贈呈式・感謝のつどい」を開催しました。

※「感謝のつどい」は功績賞以上を受賞された方をお招きし開催するもので、今回で11回目の開催となります。

2023年10月28日(土)、青葉山新キャンパスにて「東北大学基金感謝のつどい」を開催しました。

青葉山コモンズで開催された「感謝のつどい」では、145名の方にご来場、35名の方にオンラインにてご参加いただきました。

昨年度の活動報告として、収支や主な取り組みについての報告、学生チャレンジクラウドファンディング「ともプロ! 2023」実施プロジェクトの発表報告を行ったほか、大野総長(当時)と環境科学研究科松八重教授の特別講演を行いました。

「感謝のつどい」終了後には、女子大生誕生110周年を記念したセミナー、次世代放射光施設ナノテラス、環境科学研究科エコラボを巡るオプションルツアーを開催し、137名の方にご参加いただきました。各施設にてガイドの教員等から詳しい説明があり、ご参加いただいた皆さまにご好評を頂きました。



「感謝のつどい」会場の様子



オプションルツアーのナノテラス館内での説明の様子

東北大学の独自奨学金について

本学には、大学院学生に対する奨学支援制度である東北大学グローバル奨学金、学部学生を対象とした特に経済的支援を要する方への奨学制度である東北大学元氣・前向き奨学金(修学支援奨学金)があります。

さらに本学をご支援くださる企業や個人のお名前を冠した奨学金制度もあります。

〈冠奨学金の一例〉

- バラマウントベッド奨学金
- J F E スチール奨学金
- 大内記念奨励賞(大内秀明名誉教授のご寄附を受けて創設)
- 須永重光経済学部支援基金(須永重光名誉教授のご寄附を受けて創設)
- 杉山知平工学研究科奨学金(故・杉山知平氏ご遺族からのご寄附により創設)
- 齊藤記念薬学教育研究支援基金(本学卒業生齊藤宏様・和子様ご夫妻のご寄附により創設)
- 旗野奨学基金(旗野昌弘名誉教授のご寄附を受けて創設)
- 新津記念医学教育支援・研究助成(本学医学部とゆかりの深い新津家からのご寄附を受けて創設)



杉山知平工学研究科奨学金授与式の様子

4月 ● 周年記念募金「情報科学研究科30周年記念事業募金」を期間限定で設置(4/4) ● 東北大学学生会新歓イベント「Spring Festival(スプリングフェスティバル)」開催(4/15・16)に合わせ、特定基金「新入生歓迎会実行委員会支援基金」を設置(4/4) ● 第8回相続・遺贈セミナーを開催(4/15)	5月 ● 「第1弾100円朝食提供サービス※1(5/8-5/19)」を実施 ● 「グローバル萩博士学生奨学金※2」給付を実施。	6月 ● 「学生応援頭脳ドーナツの提供(6/5-6/23)」を実施 ● クラウドファンディング「新時代のがん個別化医療につながる治療標的を探索し、がん制圧の未来へ」を実施(3/22-6/20) ● 東北大学学生支援チャリティーイベント「Tohoku University Giving Campaign 2023 Spring」(6/19-6/25) >>> P11-12	7月 ● 基金運営委員会を開催(7/4) ● 寄附決済方法にAmazon Pay(アマゾンペイ)を追加(7/4) ● 寄附付き商品「東北大学校歌「緑の丘」オリジナルツバメノート」販売開始(7/26) ● 「日本初女子大生誕生110周年記念募金(DEI推進基金)」を設置(7/26) >>> P17-18	8月 ● 「日本初女子大生誕生110周年記念募金」特設サイトがオープン(8/1) ● 第1回グローバル萩海外留学奨励賞授与式を開催(8/3):計15名の海外留学を支援 ● 寄附付き商品「東北大学×伊勢角屋麦酒:女子大生誕生110周年記念リミテッドエディションHIME WHITE(ヒメホワイト)」数量限定で販売開始(8/26) >>> P17-18	9月 ● 「グリーンゴールズユニシアティブ基金」を設置(9/8) ● クラウドファンディング「100年受け継がれてきた植物標本を次世代へ」を実施(9/11-11/9) >>> P15 ● 寄附付き商品「川渡カレー『空駆ける仙台牛〜 Spicy Sendai Beef〜&風薫るルバーブ〜 Sweet & Sour Rhubarb〜』、川渡ビール『Kawatabi Cold IPA』を発売※3(9/22) ● 東北大学116周年ホームカミングデーを開催(9/30) >>> P17-18 ● 寄附付き商品「東北大学女子大生誕生110周年記念DEIクリアファイル&スケッチブック(野帳)」販売開始(9/30) >>> P17-18
10月 ● 「東北大学応援月間2023」を開催(10/1-11/30)  母校応援月間メインビジュアル	● 東北大学学生チャレンジクラウドファンディング「ともプロ!2023」を実施(10/1-11/30) >>> P13-14 ● 「第2弾100円朝食サービスの提供(10/16-11/10)」を実施 ● 「元気・前向き奨学金(経済的困窮学部学生対象奨学金)※1」を給付 ● 東北大学学生支援チャリティーイベント「Tohoku University Giving Campaign 2023 Autumn」を開催(10/23-10/29) >>> P11-12 ● 令和5年度 東北大学基金「感謝のつどい」を開催(10/28) >>> P4	● 星陵キャンパスで初めての「100円朝食提供サービス(11/13-11/24)」を実施 ● 「学生応援頭脳ドーナツの提供(11/13-12/1)」を実施。 ● クラウドファンディング「<未来の研究者のために>高校生向け天文研究イベントの開催へ」を実施(11/2-11/30) >>> P15	● 第2回大内記念奨励賞授与式を開催(12/1) ● 第9回相続・遺言セミナーを開催(12/9) ● 第2回グローバル萩海外留学奨励賞授与式を開催(12/12):計6名の海外留学を支援	● 「超小型人工衛星 打上げ支援基金」を設置(1/19) ● 東北大学学生生活動広報誌「カバターン」第2号発行(2/1)	● 「入学前研修」を実施:合計で45名を支援 ● 令和5年度学友会表彰・課外活動奨励賞・企画事業等助成費等の対象団体、個人を選出 >>> P10

東北大学全体の TOPICS

2023.4 - 2024.3

5月 ● G7仙台科学技術大臣会合 公式サイドイベント「ハイレベル会合「量子技術が切り拓く未来」を東北大学敷地内3GeV高輝度放射光施設「NanoTerasu(ナノテラス)」にて開催(5/14)  G7科学技術大臣会合公式サイドイベント ハイレベル会合 集合写真	● 東北大学が国際卓越研究大学の認定候補に選定(9/1)「国際卓越研究大学制度」とは国際卓越研究大学の研究及び研究成果の活用のための体制の強化に関する法律(令和4年法律第51号)により、国際的に卓越した研究の展開及び経済社会に変化をもたらす研究成果の活用が相当程度見込まれる大学を国際卓越研究大学として認定し、当該大学が作成する国際卓越研究大学研究等体制強化計画に対して、大学ファンドによる助成を実施するものです。 ● 女子大生誕生110周年・文系女子大生誕生100周年記念典・記念プログラムを開催(9/30) >>> P17-18	● 3GeV高輝度放射光施設放射光施設「NanoTerasu(ナノテラス)」でファーストビーム*を達成(12/7) *円型加速器内に設置された挿入光源からの放射光X線を実験ホールに初めて導入し、観測すること。
--	---	--

※1

学生の生活支援

本学学生の生活面をサポートする「100円朝食提供サービス」や「学生応援頭脳ドーナツ」等の食による支援は、東北大学基金にいただいたご寄附で実施しています。



100円朝食の一例

※2

学生の修学・研究を支援

2023年度支援実績

①「東北大学 元気・前向き奨学金※」

奨学生数:34名 ※修学支援基金の奨学金制度の呼称

②「グローバル萩博士学生奨学金」

奨学生数:217名(うち東北大学基金より52名を支援)

①②詳細 >>> P09

※3

川渡カレー『空駆ける仙台牛〜 Spicy Sendai Beef〜&風薫るルバーブ〜 Sweet & Sour Rhubarb〜』

川渡ビール『Kawatabi Cold IPA』のご紹介

東北大学川渡フィールドセンターの農畜産物を活用したコラボ商品。川渡カレーは、仙台市出身のスパイス研究家印度カリ子氏がレシピを監修。川渡ビールは、株式会社利久が運営する「希望の丘醸造所」とのコラボレーション商品。ビールのラベルデザインは社会福祉施設「多夢多夢舎中山工房」の協力により作成。藤崎百貨店(宮城県仙台市)および利久の全店舗(サービスエリア内の店舗を除く)にて販売しました。



川渡カレー2種と川渡ビール

Kawatabi Cold IPAが国際品評会で受賞!

「Kawatabi Cold IPA」が9/28-30に金沢市で開催されたInternational Beer Cup 2023のKeg(樽)部門の「Emerging India Pale Aleスタイル」にて、見事銀賞を受賞しました。



スペシャルレポート

持続可能な社会と多様性

今日の複雑化した社会の中で「多様性 (Diversity)」はきわめて重要なキーワードとなっています。

国連が2015年に採択したSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) においても、

貧困や飢餓の克服、福祉、教育、ジェンダー平等、気候変動など多くの領域で多様性の確保・保全が目標となっています。

東北大学基金では、様々な「多様性」をテーマにした基金を設置し、研究活動および活動推進の支援を行っています。

ジェンダー、国籍、性別等の平等

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DEI) 推進基金 (日本初女子大生誕生 110 周年記念募金含む)



多様性と公正性を包摂する教育・研究・就労環境の実現のために

東北大学は1907年の設立当初より、開学の理念として「門戸開放」、「研究第一」、「実学尊重」を掲げ、旧制高等学校卒業生に加え、高等専門学校、高等師範学校卒業生等の多様な人材にも入学の扉を開きました。1913年には日本で初めての女子大学生が誕生したほか、留学生にも早くから門戸を開いていたことも含め、本学では黎明期から多様性に富んだ環境や意識を育んできました。

世界が大きな変革期を迎える中、本学が誇る多様な知を総結集し、現在のみならず未来の人類の幸福を目指して新たな価値の創造へ向けて挑戦し続けるため、多様性、公正性、包摂性 (Diversity, Equity & Inclusion: DEI) を推進しています。



東北大学の女性研究者の皆さん

ご寄附件数 1,182 件

ご寄附総額 33,970,736 円

※2023年4月1日～2024年3月31日の累計

基金の主な活用例

01 両立支援・環境整備

仕事や学業と生活との両立を可能にするため、学内保育施設の充実や育児・介護支援制度等の環境整備を推進

02 女性リーダー育成

女性研究者を積極的に採用・養成し、リーダーとして飛躍させる支援・登用制度を整備

03 次世代育成

サイエンス・アンバサダー (SA) の活動等を通じて、将来性豊かな次世代研究者を輩出

04 地域連携

東北地方の大学、行政機関等と連携し、地域発展や震災復興における共同参画を推進

05 国際化対応

ワールドクラスへの飛躍に向けて、国際的視点に基づいて、外国人研究者や留学生を対象とした共同参画を推進

生物多様性の保全

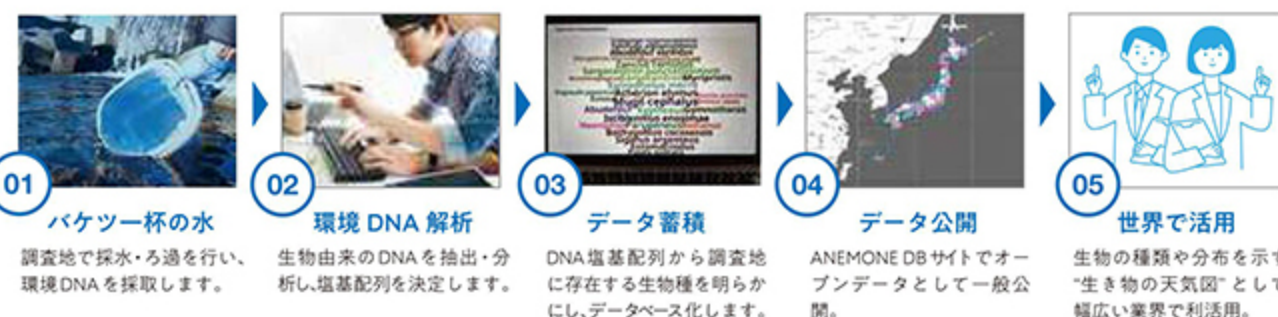
環境 DNA を用いた魚類調査によるビッグデータ「ANEMONE DB (アネモネデータベース)」支援基金



自然の恵みを未来へつなぐ

バケツ一杯の水から生態系が見える、最先端の環境データベースづくり

ANEMONE DB (アネモネデータベース) は、さまざまな生物たちの生態系のバランスを科学的に解明し、豊かな自然の恵みを次世代に受け継いでいけるよう東北大学が開発した環境DNA観測のデータベースです。「バケツ一杯の水」からそこに存在する生物の種類や分布がわかる環境DNA技術を使って、革新的な生物多様性ビッグデータが得られます。また、環境DNA観測データとしては世界で初めて制限のないオープンデータとして公開しています。貴重な環境DNAデータをオープンデータとすることで、データそのものの利活用が進み、情報をより確かなものにすることが、環境保全の一助となっています。東北大学基金では環境DNAの調査と活用、ANEMONE DBの運用等の支援を行っています。



ご寄附件数 228 件

ご寄附総額 10,537,100 円

※2023年4月1日～2024年3月31日の累計

ANEMONE DB の可能性

- 水産資源の保護や新しい漁業の開発
- 海や山の自然環境の「健康診断」
- 貴重な生物の生息場所の発見
- 絶滅した生物の生存確認・未知の新種発見 etc...



環境DNA調査の様子

イチオシ!

東北大学留学 120 周年記念募金

今年2024年は、東北大学が留学生を迎え入れてから120周年を迎える節目の年となります。

東北大学は草創期から、海外との交流を重要視し「門戸開放」の理念のもと、様々なバックグラウンドを持つ学生に開学時より入学の機会を与えていたほか、海外出身者へも早くから学びの扉を開いていました。

その理念は今も継承され、現在では、数多くの留学生の受け入れと日本人学生の海外留学や研修をサポートしています。

グローバルな視点での教育・研究の持続的発展のため、また、世界を先導するリーダー人材の育成・輩出のため、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

東北大学留学120周年記念募金 特設WEBページ: <https://tinyurl.com/22p493ve>

詳細はこちら



学生の修学・課外活動支援

東北大学基金では意欲と能力のある学生が経済的な理由で修学や研究を断念することがないように、皆さまからのご寄附による返済不要の給付型奨学金制度を設け、経済的支援を実施しています。また、学生の課外活動においても、皆さまからのご寄附を活動資金として授与しています。

東北大学 元気・前向き奨学金

経済的な理由で修学が困難な学部学生に対し、月額3万円を支給する給付型奨学金制度です。学生の経済的な不安を取り除き、安心して修学に専念できる環境を整備するもので、修学支援基金に寄せられたご寄附により、平成29年度から実施しています。

2023年度支援総数： 34名
支援内容： 月額3万円の給付（年額36万円）
対象学生： 本学に在籍する学部学生で、
経済的支援を要する学業成績優秀者

「東北大学 元気・前向き奨学金」による奨学生からの感謝の言葉

この度は皆さまのご寄附から奨学金のご支援をいただきまして、大変感謝申し上げます。私は現在、東北大学の医学部で勉強しています。今までは、生活の多くの時間をアルバイトに費やしていたため、思い通りに勉強時間を確保することができませんでした。この度、奨学金をご支援いただいたことで経済的な余裕ができ、金銭面に不安を感じることなく勉学に励んでいます。

将来は、大学で学んでいる法の知識を活かせる職業に就きたいと思っています。これからの4年間で広い視野を持って多くのことを身につけることができるよう精進いたします。大学の4年間は、自分から積極的に行動することが大切だと考えています。社会の一員として、貢献できる人材になれるように多くの経験を積みみたいと思います。



千葉ささらさん（医学部2年）
※2023年度時の学年にて表記しています。

グローバル萩博士学生奨学金

意欲と能力に溢れる優秀な学生が、本学の博士課程に進学し学術研究に専念できる環境を提供するとともに、日本の科学技術の発展に資する「創造と変革を先導する人材」の育成を目的として平成30年度から実施。年額60万円を給付奨学金として一括支給しています。また、令和4年度より対象を博士前期課程学生にも拡充し支援しています。

2023年度支援総数： 52名
支援内容： 年額60万円の一括給付
対象学生： 本学の大学院正規学生として在籍する者で学業成績が優秀であるなどの要件を満たす者

「グローバル萩博士学生奨学金」による奨学生からの感謝の言葉

貴重なご支援により、私は化学の研究室で修士号を取得し、来年からは実験の自動化に関するテーマで博士課程に進学する予定です。皆様のご支援に深く感謝しております。修士課程の間化学の研究と並行して、安価で誰でも簡単に研究の効率化を目指したプロジェクトに取り組むことができました。ソフトウェアの自動化においては、廃液の登録を自動化するPCアプリケーションとChrome拡張機能を開発し、全学での使用を達成することができました。ハードウェアの自動化では、ロボットアームを利用して時間のかかるカラム精製作業を自動化することに成功しました。さらに、廃液タンクや液体窒素などの

実験資材を自動運搬するシステムや、誰でもロボットアームを操作できるようにするためのARゴーグルを用いた視覚的操作システムにも取り組んでいます。ロボットアームによる実験自動化システムは複数の研究室に導入予定です。これらの成果は、皆さまのご支援があって初めて達成できたものです。私は、学問と技術の進歩に貢献することを使命と感じています。今後も、研究活動とプロジェクトを通じて社会への貢献を目指して参ります。改めまして、このような機会を提供してくださった皆さまに心から感謝申し上げます。皆さまのご支援が私の活動の原動力となっています。



稲川雅也さん
（工学研究科バイオ工学専攻 修士2年）
※2023年度時の学年にて表記しています。

課外活動奨励賞の授与

2023年度は各団体が積極的に活動を行いました。東北大学基金では、課外活動を精力的に実施した学友会の学生団体に課外活動奨励賞を授与しました。

課外活動奨励賞受賞団体：23団体（1団体あたり5万円）

学友会文化部（11団体）	学友会体育部（12団体）
●落語研究会 ●茶道部 ●混声合唱部 ●マンドリン楽部	●写真部 ●インクストーンズ ●陸前高田応援サークルぽかぽか ●FROM THE EARTH
●鉄道研究会 ●SCRUM ●かるた会	●応援団 ●アメリカンフットボール部 ●オリエンテーリング部 ●漕艇部
	●陸上競技部 ●ソフトボール部 ●ボディビル部 ●ラグビー部
	●空手道部 ●トライアスロン部 ●スキー部 ●セバタクロサークル

学友会等の各受賞団体への助成

学友会の学友会長賞、文化部三賞、体育部四賞を受賞した学生団体や個人のほか、顕著な社会貢献活動・地域貢献活動などを実施した学生団体に対し助成を行いました。

学友会会長賞（助成額15万円）	体育部四賞（助成額10万円）
●笠島 康生（吹奏楽部）／丹治 開（人力飛行部） 入部から卒部までの間の成績が優秀である当該年度卒業生を表彰	●黒川杯 ●漕艇部 1年間でもっとも優秀な成績を収めた団体に贈られる団体賞
文化部三賞（助成額10万円）	●志村杯 ●乗馬部 1年間でもっとも行事内容の充実した団体に贈られる団体賞
●石田杯 ●アマチュア無線部 学友会文化部が主催し、東北大学における学生の文化活動の向上と学風の振興を目的として、文化部所属団体に授与される団体賞	●鈴木賞 ●古角 海志（オリエンテーリング部） これからの活躍が期待される成績優秀な2年生に授与される個人賞
●海野賞 ●男声合唱部 学生文化活動の向上と学風の振興を目的とし、良好な成績、あるいは本学および地域社会への優れた貢献のあった団体を表彰する団体賞	●大谷賞 ●女子バレーボール部 ●男子バスケットボール部 ●卓球部（女子） ●乗馬部 ●スキー部 ●ハンドボール部 ●フェンシング部 ●水球部 全国七大学総合体育大会において優勝した部に授与される団体賞
●末光賞 ●井上 祥一（吹奏楽部） 前年1年間で優秀な成績を収めたもしくは各種イベント、演奏会等の企画・実施を中心に担った学生に授与される個人賞	
学生団体の企画事業等への助成（1団体あたり10万円上限）	文化部正規団体（2団体）
	●混声合唱部 ●写真部
	体育部正規団体（1団体）
	●応援団
	文化部準加盟団体（2団体）
	●東北大学陸前高田応援サークルぽかぽか ●かるた会

「課外活動奨励賞」受賞団体からの感謝の言葉

セバタクロサークル

セバタクロは“足でやるバレーボール”、“空中の格闘技”とよく言われています。当サークルのメンバーはただ競技を楽しみたい人から、本気で全国優勝を目指している人まで様々ですが、お互いに尊重しあいながら楽しく本気で練習に取り組んでいます。普段の練習は、仙台市内の様々な市民センターをお借りし、週5日程度活動を行っています。活動場所が予約制のため、予約が取れないことで練習ができず満足度の低いような練習ができないこともあります。そんな中でも選手たちは公園や河川敷など、少しでも練習できる場所を探して、上達できるように活動に取り組んできました。その結果、昨年は全国で準優勝や3位入賞、また当サークルから数名世代別の強化指定選手にも選出されるなどの結果を残すことができました。

私たちは、活動の目的として技術の向上はもちろん、セバタクロの普及も目標に掲げています。日本国内でセバタクロはサッカーや野球などと比べるとまだまだマイナースポーツという位置づけになると思います。セバタクロの普及のためにもっと結果を残し、多くの人の目に留まるような団体になれるように尽力していきたいと思っています。今回、いただいた奨励金は市民センターの使用料やネット、ボールなどの用具の購入に使わせていただき、新品の用具を使って気持ちよく活動が行えています。ありがとうございます。



世界大会で戦う横田選手

Tohoku University Giving Campaign 2023

—— “推し活 × 押勝つ” で燃えろ！あなたの応援、投票が力になる。 ——

東北大学・東北大学生を応援し教育・研究・課外活動への支援の輪を広げるチャリティイベント「Tohoku University Giving Campaign 2023」を実施。イベントでは応援したい学生団体への投票に加え、応援メッセージを届けたり、支援したい団体に寄附をしたりと様々な形で頑張る学生を応援いただきました。

2023年度は春と秋の2シーズンでイベントを開催しました。

※Giving Campaign は、各大学の支援者ネットワークの拡大・活性化と寄附文化の醸成を目的に、全国の企業から協賛金を募り、イベントに参加した大学関連団体（部活動・サークル・研究室等）を支援する取り組みです。

参加総数 のべ **42,850** 名 寄附件数 **1,893** 件 皆さまからの寄附総額 **16,814,644** 円

開催概要【春開催】

開催日時：2023年6月19日（月）9:00～6月25日（日）19:00まで

参加団体数 **99** 団体 参加総数 **26,670** 名

得票ランキング（上位5位まで）		
1位	漕艇部	2,038 票
2位	東北大学祭実行委員会	1,998 票
3位	ストリートダンスサークル WHO	1,379 票
4位	ランダウ、リフシツ「理論物理学教程」最新版邦訳プロジェクト	1,290 票
5位	スケート部アイスホッケー部門	1,230 票

開催概要【秋開催】

開催日時：2023年10月23日（月）9:00～10月29日（日）19:00まで

参加団体数 **92** 団体 参加総数 **16,180** 名

得票ランキング（上位5位まで）		
1位	漕艇部	1,386 票
2位	ストリートダンスサークル WHO	1,168 票
3位	ランダウ、リフシツ「理論物理学教程」最新版邦訳プロジェクト	892 票
4位	アメリカンフットボール部 HORNETS	674 票
5位	スケート部アイスホッケー部門	608 票

Giving Campaign 中にいただいた皆さまからの温かいメッセージ

30代 男性

下関でボートを漕ぐ社会人です。東北大学漕艇部は地方国立大、未経験者が多数を占めるチームの希望であり、他団体からも目標とされる素晴らしいチームだと思います。これからも素晴らしい選手が輩出されていくことを楽しみにしております。

Spring

60歳以上 女性

トンベイオケOGです。入団したのは、ほぼ50年前…いまだにその当時のメンバーとアンサンブルをしています。貴重な時期の大事な思い出です。現役の皆様も一生の仲間に出会えるこの機会を大切に音楽と共に過ごしてください。応援しています。

Spring

20歳未満 男性

毎年感動のフライトをありがとうございます！！！！僕もWindnautsに参加したく日々勉強しており、毎年大会を見てモチベにしています！

Autumn

20代 男性

翻訳、出版社との交渉、大変なことが多いと思います。全国の物理屋のためにも頑張ってください！応援しています！

Autumn

50代 女性

応援団、日本の文化だと思います。沢山の人の見てもらって、これからの人にも引き継いで行ってください。

Autumn

企業賞の授与

実施期間内に設定したチャレンジ条件を達成することで、パートナー企業の名前を冠した賞を用意。戦略的に企業賞を獲得し、活動資金を獲得した団体もみられました。

〈企業賞の一例〉

- 期間中に最も卒業生からの応援を集めた団体
- 期間中に最も寄附件数が多かった団体
- 「1111」番目の応援を獲得した団体
- その日正午から30分で最も応援を集めた団体 etc…

イベント終了後のお礼メッセージ

イベント終了後には応援してくださった皆さまに各団体からお礼の動画メッセージが届けられました。

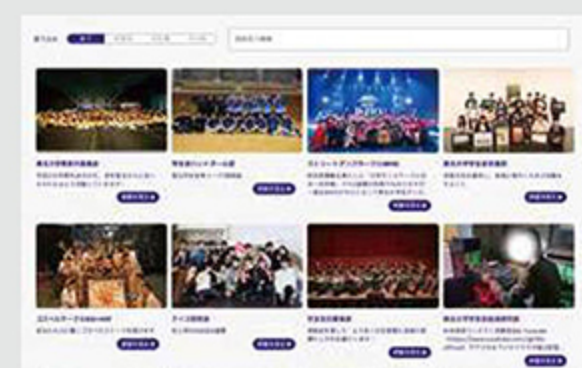


1位を獲得した漕艇部のお礼動画メッセージ再生ページ

Giving Campaign 特設サイト TOP ページ



各部活動紹介ページ



ともプロ! 2023 学生チャレンジクラウドファンディング

本学が社会と一体となって学生の挑戦を応援する未来共創型クラウドファンディング「とも・プログラム（通称：ともプロ!）」を2023年も実施いたしました。2023年は過去最多の13プロジェクトが採択され、皆さまからのご支援により、多くのプロジェクトが目標金額50万円を達成しました。



No. 01 web3/ブロックチェーンの社会実装にむけた大学walletの実証実験
Web3東北



No. 02 東北大学発! 東北・日本・世界を支えるスタートアップ人材輩出コミュニティを作る!!
根本 一希



No. 03 自分のニオイで悩み、苦痛を感じている方を同じ悩みをもつ仲間のもとへと繋げたい
佐野 なな子



No. 04 目指せ七帝最強～東北大学の七帝戦勝利をみんなで応援しよう～
東北大学学友会応援団



No. 05 仙台コスミックフェスタ～杜から宙へ～ 学生から地域の方々へ、宇宙の魅力を伝えたい!
杜宙実行委員会



No. 06 隠れフードロスの特産品に! 捨てるを活かす、農家応援プロジェクト
近藤 ひなた



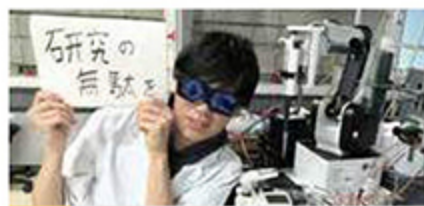
No. 07 【東北から世界へ】日本初! 火星探査ロボットの世界大会へ向けた挑戦～ARES Project～
ARES Project



No. 08 ～研究のムダ時間をゼロに! 運搬作業の完全自動化プロジェクト～
ChamRidaBot



No. 09 東日本大震災で原発被害を受けた福島被災12市町村のRPGスマホゲームの開発
アルセウス



No. 10 ロボットアームによる実験自動化プロジェクト-東北大学の研究力を世界に
LaboRobo



No. 11 廃液登録ソフトウェアのアップデート～研究者の事務的負担軽減～
Lab App.



No. 12 基礎研究と社会をつなぐプラットフォームをつくり、日常に奥深さを。
QLI



No. 13 松葉の堆肥化プロジェクト～松林の厄介者を資源にして宮城の海岸防災林を救う～
河本紗都美



No. 14 More Sustainable! 国際チームで挑む自然資本会計自動化プロジェクト
CSpace

ともプロ! 2023 プログラム全体の支援

No. 15 ともプロ! プログラム全体を支援



東北大学
学生チャレンジクラウドファンディング

ともプロ! 2023

2023年10月1日(日)～11月30日(木)

ともに創り、ともに育つ。大学が社会と一体となって学生の挑戦を応援する
未来共創型クラウドファンディング実施中!

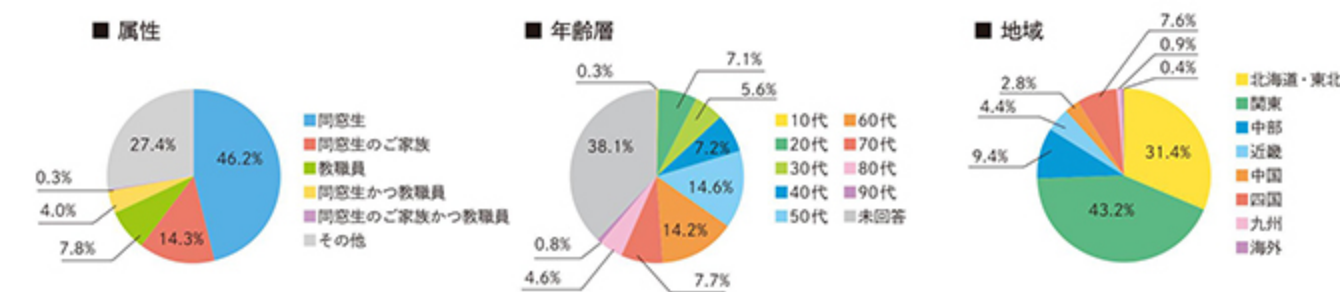
概要

「ともプロ! 2023」へのご支援 **ご支援件数 790件** **ご支援総額 13,307,200円**

実施期間：2023年10月1日～11月30日

目標金額：最大50万円（クラウドファンディングで寄せられた資金と一般基金からの助成）

広報媒体：各プロジェクトで運用するSNS（Facebook/X（旧Twitter）/Instagramなど）および東北大学の広報媒体



Pick UP
プロジェクト
No.13

松葉の堆肥化プロジェクト

～松林の厄介者を資源にして宮城の海岸防災林を救う～

ご支援件数 79件 **ご支援総額 1,149,000円**

宮城県の海岸防災林は400年以上にわたり自然災害から人々の暮らしを守ってきましたが、松林に必要な管理作業をする人手が足りないという課題を抱えています。このプロジェクトは、管理作業のうちの松葉の除去作業を「堆肥化」によって解決しようとするものです。宮城県で初めて松葉の堆肥づくりに取り組んでおり、完成後はその堆肥としての効果を科学的に検証することを目指し、クラウドファンディングを実施しました。

なお、このプロジェクトは、ともプロ! 実施当初からのプロジェクトの中で過去最高累計寄附額のご支援を賜りました。



堆肥化の作業の様子

ともプロ! 2023実施後の各プロジェクトの成果

■ 受賞等

No.01: Web3

東北大学ビジネスアイデアコンテスト
“ACADEMIA IN ACTION 2023-2024”に採択

No.07: ARES Project

火星探査ローバーコンテスト
University Rover Challenge (URC) 世界大会に
日本チームとして初の決勝進出・Spirit Award受賞

No.10: LaboRobo

ハードウェアコンテスト GUGEN2023
ファイナリスト選出

■ 報道

No.07: ARES Project

- ・鳥取砂丘で学生が開発した火星探査機の走行実験 (NHK鳥取放送局)
- ・火星探査機開発 東北大学生チーム世界大会出場 学生たちの壮大な挑戦 (仙台放送)

No.09: アルセウス

- ・【ゲームの舞台は「原発被害」を受けた福島県】スマートフォン用ゲーム開発に情熱注ぐ大学生 開発に込めた想いに迫る (ミヤギテレビ)
- ・ゲームで知る! 「被災地」の今の風景 制作したのは「よそ者」の大学生 原発事故に津波大きな被害を受けた福島が舞台 (仙台放送)

2023年度は3件のクラウドファンディングに挑戦しました。



PROJECT 01

新時代のがん個別化医療につながる治療標的を探索し、がん制圧の未来へ

挑戦者：東北大学大学院 医学系研究科 臨床腫瘍分野 石岡 千加史
募集期間：2023年3月22日～2023年6月20日

ご支援件数 **390件** ご支援総額 **13,563,100円**



PROJECT 02

100年間受け継がれてきた植物標本を次世代へ

挑戦者：東北大学植物標本庫
募集期間：2023年9月11日～2023年11月9日

ご支援件数 **928件** ご支援総額 **17,754,000円**



PROJECT 03

《未来の研究者のために》
高校生向け天文研究イベントの開催へ

挑戦者：東北大学大学院理学研究科 服部 誠・板 由房
募集期間：2023年11月2日～2023年11月30日

ご支援件数 **25件** ご支援総額 **423,000円**

Pick Up Project
メッセージ

PROJECT 02 100年間受け継がれてきた植物標本を次世代へ

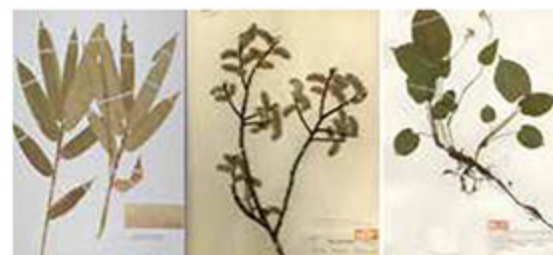
プロジェクト実行責任者
東北大学学術資源研究公開センター植物園園長 牧 雅之

1923年の約100年前に設立された東北大学植物標本庫には、国内外の貴重な植物標本が延べ70万点収蔵されており、学術的・歴史的にも貴重なコレクションを有しています。

標本庫の設立と運営は、本学OB津田弘氏の寄附によって賄われていましたが、その寄附金が底をつき、現在運営を停止せざるを得ない状況となり、植物標本という人類共通の財産を守り、次世代に繋げていくため、今回クラウドファンディングによるご支援を呼びかけました。

東北大学植物標本庫存続のためのこのプロジェクトは、多くのメディアに取り上げられるなど関心が高く、ご寄附や応援メッセージなどの数多くのご支援を賜り、目標金額を大きく超えたことで、しばらくの間は、東北大学植物園の標本庫は安定的に運営できる見込みがつかしました。

皆さまからこれだけの応援をいただいたことは、間違いなく今後の私達の活動への追い風になるものと思っています。今後も、ぜひ東北大学植物園のことを心の片隅においていただき、いづれご来園いただけることを一同、強く願っております。



植物標本

寄附者からの声

東北大学では2023年度も数多くの方々より多大なるご寄附を賜り、心温まるメッセージや激励の言葉などもお寄せいただきました。

学びの循環モデルをつくりたい

Message 01

東北大学とのかかわり、きっかけについて

株式会社batonの主力ビジネスであるQuizKnockのフロントマンを務める伊沢拓司が、東北大学の客員准教授を務めさせていただいたことが最初でした。それまではYouTubeなどでわかりやすい“学び”を発信していましたが、我々ももっと学び、よりしっかりと“学び”も届けたいと思っていました。

東北大学とのかかわり、きっかけについて

今、中高生にとってSDGsは一番わかりやすくメジャーなテーマになっていますが、GGI（グリーンゴールズイニシアティブ）はSDGsと密接につながる大きな社会問題をテーマに研究をされているところに非常に共感しました。

我々だけでできることだけを提供するのではなく、もっといろんな方々と取組を一緒にしながら、そこでも新しい価値を明確にしていける、そういう循環のモデルを作れないかなと考えており、GGIの取組に賛同・支援させていただきました。

東北大学は、特に震災の分野などでのリーダーシップをとられている最先端の大学であり、日本から世界への架け橋となる大学だと感じています。

これからも東北大学との共創により、義務教育で提供される“学び”だけでなく、社会に必要な“学び”につながるような仕掛けを作りたいと考えています。



株式会社baton代表取締役
衣川 洋佑様

グリーン未来創造機構
グリーンゴールズイニシアティブ基金
(GGI基金)へのご寄附

本学へお寄せいただいたメッセージ（東北大学基金ウェブサイトより一部ご紹介）

Message 02

●世界に誇れる卓越した教育研究機関として、多様な人材を育成するとともに、本学が大きく飛躍・発展していくことを心より祈っています。GO GO !! 東北大学。(東北大学一般基金へのご支援)●未来の日本・世界を担う学生が金銭的な理由で学業を断念することがないよう、少額ですが力になれば幸いです。(修学支援基金へのご支援)●以前、博士課程後期課程の在学中に、こんな制度があればとてもうれしいと思っていたので、微力ながら是非支援させて頂きます。(博士課程支援基金へのご支援)●私が東北大学を受験したきっかけが、初の女子大生が東北大学で誕生したことを知ったからでした。これからの女子学生さんのますますのご活躍にほんの少しでもお役にたてば幸いです。(日本初女子大生誕生110周年記念募金へのご支援)

寄附トピック

2023年度は現金以外の
以下のご寄附を賜りました。

- ・金地金・プラチナ地金によるご寄附
- ・株式によるご寄附



あなたが未来に託すもの
一次の世代を育むために

遺贈・寄附サポートセンター

信託から遺贈まで、お一人おひとりのライフプラン合わせた
“未来へつなぐご意思のカナチ”をご案内します

東北大学基金では、上記のほかに「土地・建物等の不動産」などの現物資産によるご寄附の受け入れも行っております。

東北大学基金への現物資産によるご寄附におきましては、「みなし譲渡所得税」の非課税措置を受けることが可能です。

※みなし譲渡所得税の非課税措置の詳細については以下東北大学基金ウェブサイトよりご覧ください。
<https://www.kikin.tohoku.ac.jp/donator/tax#minashi>

また、現物資産のご寄附相談に加え、遺贈によるご寄附の相談も年々増加しております。東北大学基金では、「東北大学遺贈・寄附サポートセンター」にて専属スタッフがご相談に対応しておりますので、お気軽にご相談ください。2023年度は遺贈・寄附サポートセンターへのご相談後に5件の遺贈をお受け入れいたしました。

遺贈・寄附サポートセンター

東北大学基金
遺贈・寄附サポートセンター
フリーダイヤル：0120-279-514
(受付時間：平日 9:00-17:00)
E-mail: kikin@grp.tohoku.ac.jp

【WEBサイト】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/japanese/application/bequest.html>

開催報告

東北大学女子大生誕生110周年記念・文系女子大生誕生100周年記念事業

1913年、3名の女性が東北帝国大学への入学を許可され、日本初の女子大生が誕生。2023年、東北大学は、日本初の女子大生誕生から110周年、文系女子大生誕生から100周年を迎えました。この節目を記念し、

本学では記念式典の開催等の様々な記念事業を展開しました。



記念イベント

女子大生誕生110周年・文系女子大生誕生100周年記念式典・記念プログラム 2023年9月30日(土)

東北大学116周年ホームカミングデーにて「女子大生誕生110周年・文系女子大生誕生100周年記念式典・記念プログラム」を開催いたしました。記念式典ではご臨席された佳子内親王殿下より「東北大学が女性を受け入れるという方針を実行したことは、大切な一歩だったと感じます」とのおことばを賜りました。また、藤江文部科学審議官よりいただいた祝辞の中で、「男女共同参画社会の実現には産・学・官がその意義を共有し、社会全体として一体となった取り組みを行う必要がある」と力強い言葉がありました。



記念式典の様子



佳子内親王殿下

東北大学基金の記念事業の取組み

日本初女子大生誕生110周年記念募金の実施

期間：2023年4月1日～2024年3月31日

多様な人材がその能力を最大限に発揮できる環境をより高い次元で実現させるため、この日本初女子大生誕生110周年の節目を契機に、DEI推進のためのご支援を呼びかけました。

ご支援件数 **1,163**件
ご支援総額 **33,517,736**円

周年記念グッズの展開

周年事業の一環として、様々な記念グッズを制作しました。なお、記念グッズの売り上げの一部は多様性と公正性を包摂する教育・研究・就労環境の実現のため「東北大学DEI推進基金」に寄附されます。



東北大学 × 伊勢角屋麦酒
「女子大生誕生110周年記念
リミテッドエディション HIME WHITE (ヒメホワイト)」
販売価格：572円(税込)
藤崎百貨店、酒のやまやにて販売(現在は終売)

東北大学 × J.PRESS × 藤崎
「東北大学女子大生誕生110周年記念
オリジナルスカーフ」 販売価格：12,000円(税込)

東北大学創立115周年に続き、女子大生誕生110周年記念事業として東北大学とJ.PRESSが再びコラボレーションし企画製作した上品で高級感溢れるスカーフです。
※東北大学校友会ウェブサイト内で校友会プレミアム会員向けに販売中



東北大学女子大生誕生110周年記念
DEIクリアファイル
※東北大学生協全店舗にて販売(現在は終売)

東北大学女子大生誕生110周年記念
DEIスケッチブック(野帳)
※東北大学生協全店舗にて販売中



Special Collaboration

東北大学女子大生誕生110周年記念し、本学経済学部卒業のイラストレーター・風氏に書き下ろしイラストを依頼。本学に最初に入学した女子大生3名のように時代を切り拓いてきた女性をイメージし、「自分の信じる道を進む芯のある女性」をテーマにイラストを作成いただきました。

イラストレーター・風

1996年、秋田県生まれ。東北大学経済学部卒。会社員として働きながらイラストを制作し、2020年9月からフリーのイラストレーターとして独立。「かわいい屋さん」として幅広い作品を手掛けています。
Instagram: <https://www.instagram.com/nekokawaii1012/>